

いのちの輝

龍の瞳発行
月刊通信

最新情報はこちら
ryunohitomi.co.jp

6

No61
2021

2020年産 公式通販：ご注文・お問合せ
好評販売中 TEL 0576-54-1801
FAX 0576-54-1836



田植えを終えた龍の瞳(恵那市切山地区)



龍の瞳米粉使用のカヌレ 1個330円(税込)

龍の瞳米粉を使った 洋菓子が商品化

岐阜県多治見市にあるフランス菓子専門店「グランディール様」にて、「龍の瞳の米粉」を使用したカヌレが商品化されました。

弊社内の試食でも大好評。「仕上がりがもちもちとして、いつものカヌレとは違う」とシェフ・パティシエの言葉の通り、龍の瞳の米粉の特性でもある「もっちり」と「しっとり」が楽しめる一品です。

驚いたのは、カヌレなのに小麦粉を一切使用していないという点。小麦アレルギーの方も上品な甘さと洋酒がほのかに香るカヌレを堪能できます。この春からのラインナップですが、すでに人気商品の一つになっているとのこと。

一地鎮祭を執り行いました

龍の瞳玄米の新保冷庫建設にあたって、地鎮祭を執り行いました。

今年の新米出荷までに竣工の予定です。出荷体制を拡充し、お客様の利便性向上に努めて参ります。



カヌレのお問合せ・ご購入
グランディール
岐阜県多治見市宝町10-24
電話0572-257737
※通信販売はされていません。
※弊社での取り扱いはありません。



オンラインショップにて
販売中
龍の瞳米粉
1kg/980円(税込)

業界内の製粉技術の向上により、最近の米粉は小麦粉と同等の大きさの粒子に製粉されるようになりました。そのため、「ぼそぼそ」「まとまらない」「膨らまない」など、従来の米粉によく見られた難点が抑えられ、家庭でも幅広い用途で使いやすくなっています。
小麦アレルギー対策になるほか、グルテン摂取を制限されている方にもお薦めの米粉です。ぜひ日常の食卓で活用いただきたい食材です。

白米モードで炊ける玄米 玄米つやみがき®



玄米つやみがき®
は玄米の表皮を薄く「磨いた」独自の方法で精米しています。
この製法により、ぬか層の外側の果皮(ロウ層)だけを取り除いて浸水性を高め、米を水に浸す浸漬(しんせき)時間を通常の玄米より大幅に短縮。短い時間でふっくらと炊きあがるようにしたものです。

炊飯器の「白米モード」で白米同様に炊けるうえに、栄養素と食感は玄米とほぼ同様なので玄米食を試してみたい方にもお薦めです。また、普段のお米に混ぜて一緒に炊くことができるのも魅力です。ぜひお気軽に玄米の風味と食感をお楽しみください。

※「玄米つやみがき」は株式会社龍の瞳の登録商標です。



国内産 農薬不使用米
玄米つやみがき®
1kg/1,550円(税込)



第四十三回 『龍の瞳』ストーリー

畔にハーブを植える



ハーブとは、薬や香料とする草の総称である。大きく分けてシソ科、キク科、イネ科などがあり、用途に応じて食用、薬用、観賞用、防虫用、香料など本場に多様である。本稿では、防虫用として、特にミントを取り上げたい。

水稲は穂が出てから二週間ぐらいの間に、カメムシにより汁を吸われた跡に黒い斑点模様が残ってしまう被害を受ける。

龍の瞳®は、通常の被害箇所とは違って、玄米の「腹」の部分に小さい斑点が残るので、色彩選別機で除去するにしても、完全には



自宅の庭にあったミントを移植

できないという問題を抱えている。お客様からの苦情も、かつては多かった。

ミントにカメムシの忌避効果があり、有効性が高いという認識はあったものの、生産者が果たして費用対効果を理解したうえで、行ってもらえるのか自信がなかった。

畔道ハーブ米の先進地である北海道、J A幌延町の担当者に昨年5月に電話し、殺虫剤の散布量が従来の半分になり、景観も良くなったという話を聞いた。1989年に今橋さんという方が、自宅で観賞用に植えていたミントを畔に植えたところ、カメムシの生息域である畔のイネ科雑草が減るとともに、防虫効果が期待できることが分かり95年から本格的に取り組みだしたという。

龍の瞳®の栽培でも、昨年の栽培から取り組みを始めた。環境への負荷が大きく、世界的に問題になっているネオニコチノイド系農薬を使わないと決めたこともきっかけだ。

ネオニコチノイド系農薬は、殺虫効果が高いうえ、葉効が長く続くこ

とから、現在、日本では殺虫剤の大宗を占めている。生産者からの反発も一部にはあり、弊社では厳しい判断をしたことになる。

余談だが、同農薬はミツバチなどの益虫や「ただの虫」に対しても影響が大きく、最近、田舎では昆虫の数が極端に少なくなってきた原因がそこにあることは、ほぼ間違いない。スズメなどの鳥類も、本当に数が少なくなっている。

ミントは苗を作って畔に植えるのではなく、春先に茎を5cmくらいに切り、畔に差し込むだけで増殖できる。その方法が分かったことも、取り組みの後押しとなった。また、龍の瞳®の生産者が、洗濯物干し竿の下にミントを植えたところ、洗濯物へのカメムシの侵入が無くなったという話も参考になった。

一般的に虫よけ効果のあるハーブは、レモンユーカリ、レモングラス、ラベンダー、タイム、カレンソウ、ミントがある。弊社ではミントの移植を取り急ぎ進めていき、その後、カレンソウなど他のハーブとの混植

を模索していきたい。

一口にミントと言っても、アップルミント、ペパーミント、ペニールイナルミント、日本在来種のハッカなど様々な種類がある。畔道ハーブは、アップルミントが主流ではあるが、他に良さそうな品種がないものか、試験をしているところだ。

ミントは繁殖力が強いものの、田んぼが水路や畔、道で仕切られているために、他人の土地にはびこっていく心配はないようである。ただし、「ただの虫」やクモなどの益虫が住み着きにくくなる心配があるので、地下茎を部分的に遮断してミントの無いスペースを残すなどの配慮は必要かもしれない。

ミントは、当地では冬に枯れることなく青葉を残している。田んぼの雑草は、冬に一度枯れて春に若葉を伸ばすので、畔にあるミントに陽光を遮断される。生産者をして、草刈りの重労働から解放されるはずである。

弊社では、これらの取り組みを強化する中で、社是である「古の自然を取り戻す」ことを実現したいのである。

Profile

今井 隆

1955年、岐阜県下呂市萩原町に生まれる。農林水産省に勤務。30歳頃から詩、小説、ルポなどを書き始める。短編で岐阜市文芸祭受賞。夢は作家になること。2000年に水稲品種「龍の瞳」を発見して育成。「龍の瞳」は数々のコンクールで金賞、「日本一」などになり、最高級米としてブランド化されている。

この文章は月刊たる 2021年4月号に掲載されたものです。許可を得て転載しています。

June Ryu no hitomi 06



〒509-2512 岐阜県下呂市萩原町大ケ洞1068
TEL 0576-54-1801
FAX 0576-54-1836
https://ryunohitomi.co.jp

